

東京都がん検診センター

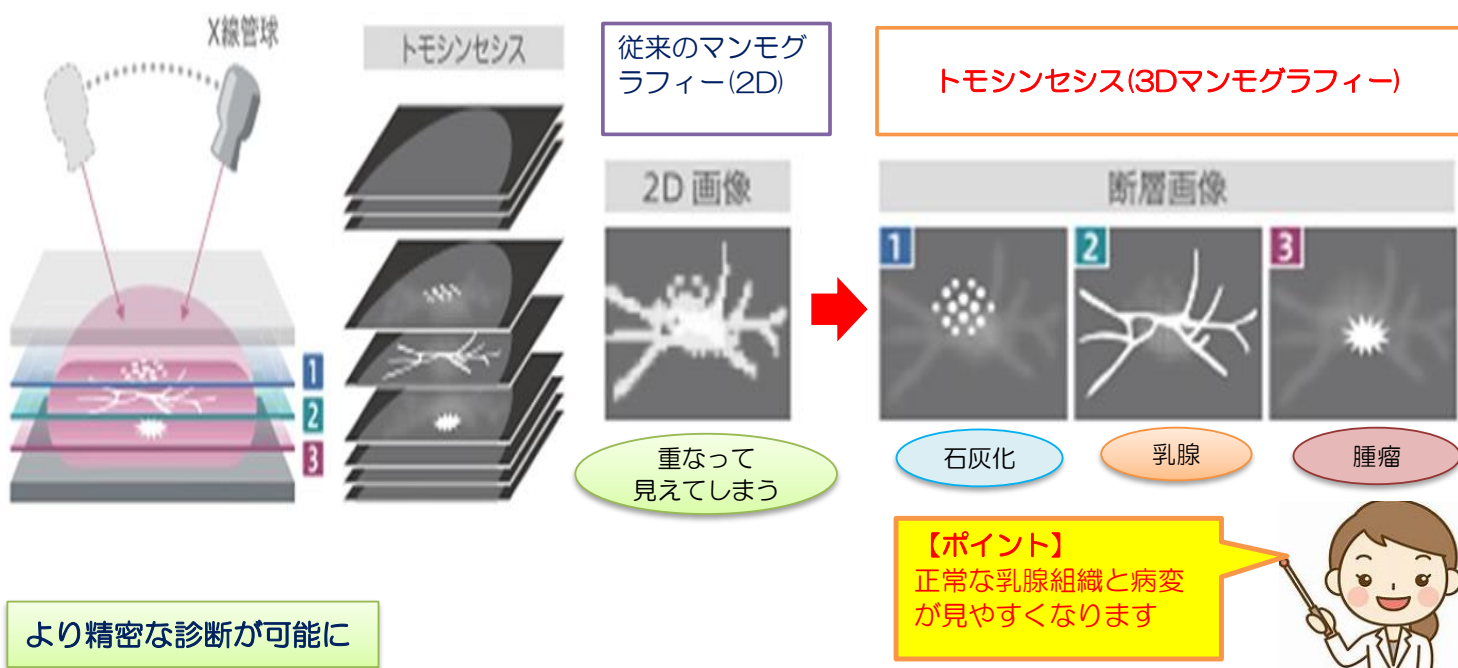
3Dマンモグラフィー検診外来

(トモシンセシス)

※がん検診外来のため自費診療です

トモシンセシス(3Dマンモグラフィー)とは？

トモシンセシス (Tomosynthesis)は乳房を複数の方向から角度を変えて撮影したデータを用いて、任意の高さの断層像を再構成する技術です。



より精密な診断が可能に

再構成した断層像は乳腺組織の重なりが少なく、従来の2Dマンモグラフィでは発見が難しかった病変の観察がしやすくなります。

また、偽陽性（乳がんではないにも関わらず、乳がんの疑いありと診断されてしまうこと）を減らすことで、不要な精密検査が減り、受診者さんの負担を軽減することができます。

高濃度乳房の方など、乳腺の中に隠れてしまう石灰化や腫瘍の診断がされやすくなります。

被ばくについて

通常マンモグラフィと比較して若干被ばく量が高くなります。

検査は乳がん検診の被ばく線量基準である **3 mGy** という基準範囲内です。

【料 金】

がん検診外来のため自費診療です。診察料+乳房X線及び断層撮影料相当額を実費でいただきます。また、単独自費検診のため日帰りがんドックや保険診療との併用はできません。

概算料金：12,900円(税込額)

【予約方法】

予約制です。「3Dマンモグラフィー検診外来」と予約をお取りください。

東京都がん検診センター予約専用電話 042-327-0002

予約受付時間：平日 月曜～金曜 午前9時～午後5時

3D マンモグラフィ検診外来 よくある質問

Q：3D マンモグラフィは、通常のマンモグラフィよりも痛みは少ないですか？

A：圧迫の圧は同じです。我慢ができない程の圧迫はしませんので、痛みが強い場合は申し出てください。

Q：検査にかかる時間はどれくらいですか？

A：通常のマンモグラフィ撮影よりも乳房を圧迫する時間が一方向につき5～8秒程度長くなります。息止めはありません。

Q：検査はどのように行うのですか？

A：通常のマンモ装置を使用します。撮影は、通常のマンモグラフィと同じ合計4方向です。

Q：授乳中でも検査は可能ですか？

A：検査は可能ですが、通常よりも乳腺の中が見えづらくなります。授乳が終わってからの検査をお勧めします。

Q：豊胸術、手術後でも検査は可能ですか？

A：バッグなど異物が入っている場合は検査できません。それ以外の場合は、ご相談ください。
手術後の場合は、反対側は撮影可能です。手術側も乳腺が残っていれば検査可能です。

Q：車椅子でも撮影できますか？

A：背もたれなしで座ることができれば可能です。詳しく確認したい場合は、事前にご相談ください。

Q：聴覚・視覚障害があっても検査は可能ですか？

A：可能です。

Q：高濃度乳房と言われているので検診のマンモグラフィだけでは心配です。追加検査を考えていますが、3D マンモグラフィ又はエコー検査のどちらがお勧めですか？

A：極めて高濃度の乳腺では、3Dでも病変を指摘できない可能性があります。エコー検査は高濃度乳房であっても腫瘍の検出感度が低下しないためマンモグラフィの弱点を補完する方法として期待されています。

Q：乳がん検診を受けたいのですが、どれを選んだら良いですか？

A：科学的に有効性が認められているのは、自治体等でも実施の「2年に1回のマンモグラフィ検査」です。
当センターでは、より精密な乳がん検診を希望される方のために、マンモグラフィ検査・エコー検査・医師の診察がセットになった「乳がんドック」を実施しています。
また、マンモグラフィ検査だけをご希望の場合には「3D マンモグラフィ検診外来」があります。一般的には30歳未満の方、授乳歴がない方は高濃度乳房である可能性が高く、2Dよりも3D マンモグラフィの方が多くの病変を発見できると言われています。本外来にて、今後の検診は何が向いているか個別に医師へ相談することもできます。

Q：日帰りがんドック（一般、プレミアム、子宮）と同じ日に3Dマンモグラフィ検診外来を受診できますか？

A：単独自費検診のため、日帰りがんドックや他科の自費外来、保険診療との同日受診はできません。